



コングレスでの記念撮影

喜んで喜ぶ心と体、生きる喜びに

由井名誉会長
基調講演

未曾有の時代こそホメオパシーの出番

サポートチックチャー

解決策として考案

感動させたビデオレター

由井名誉会長の発表は
まず冒頭ワクチン信奉の



由井名誉会長

第23回ホメオパシー学術大会（コングレス）の目玉は、由井寅子名誉会長の基調講演。2日にわたり行った。鋭く問題点を突き、その対策を具体的に示す。多くの参加者から信頼される所以である。2日目の難病の子供を抱えた母親からのお礼のメッセージに心が振るわせられた。

崩壊について次のように語った。

「結局、ワクチンは人を病気にさせているというのを、私はホメオパスになって30年間言い続けて来ました。今、新型コロナワクチンによって、

日本国民もやっと気づき始め、長い間、現代医学の花形だったワクチン信奉が崩れようとしています。真の医学は、自己治癒力を高め、病気に負けない心と体を作ること。

かかった場合はしつかり休んでひききり、かかり切り、出し切ることが最も大事なのです。症状はありがたい！ 病原体はありがたい！ これが20年間言い続けて来たことです。

ホメオパシーでは感染症にかかる素因をレメディーで解放し、本当の予防が可能なことです。

かばらまかれ、新たなパンデミックが起こる可能性がある。そしてその解決策として新たなサポート

物の医学が必要とされます。いよいよ、ホメオパシーの出番がきましたね」とした。

今回の由井名誉会長の発表ではワクチン接種における各国の動向として「米国」ワクチン健康被害報告650万人データ公開、「英國」免疫学・病理学者によるワクチンによる遺伝子への影響への見解。そして日本の現状の問題としてワクチン接種時期と死亡数の推移

がばらまかれ、新たなパンデミックが起こる可能性がある。そしてその解決策として新たなサポート

がばらまかれ、新たなパンデミックが起こる可能性がある。そしてその解決策として新たなサポート

がばらまかれ、新たなパンデミックが起こる可能性がある。そしてその解決策として新たなサポート

がばらまかれ、新たなパンデミックが起こる可能性がある。そしてその解決策として新たなサポート

医師 杉本 解熱鎮痛薬は危険 賑わつた懇親パーティー

4面からのつづき

井上正康氏の前に、全

国リレー中継が行われ、未曾有の危機への対応発表が行われ、山梨、島根、茨城、北海道、福島、東京、沖縄、神奈川、千葉、宮城など続いた。

次に由井寅子名誉会長の基調講演（別掲）の後、英国ホメオバスのトレー・ガン氏が「免

疫について、ワクチンを売りたいための、数値のからくりと、また、ワクチンについての遺伝子治療が失敗に終わっているこ

とが「反ワクチン」の実現を！」反ワクチン訴訟報告と食料危機の時代への解説を行った。

2日目も学術発表から始まり、午後は南出喜久治弁護士の「まほらま

と」日本の自立再生社会の実現を！」反ワクチン

について、ワクチンを売

りたいための、数値のからくりと、また、ワクチンについての遺伝子治療が失敗に終わっているこ

とが「反ワクチン」の実現を！」反ワクチン

る」と予言したことを取り上げ語った。

一方は、自分で何でもでき、何でも自由に考え、神様のような人類へと進化する。

もう一方は、自分で考える力がなく、ロボット化され、生物兵器として新たな生物兵器がばらまかれ、新たなパンデミックが起こる可能性がある。

そしてボルバキア、デジタル化など病原体の靈的見解やワクチンのグラフエンの問題を取り上げた。今後新たな生物兵器がばらまかれ、新たなパンデミックが起こる可能性がある。

い人口削減計画についての由井名誉会長の見解を述べました。

の由井名誉会長の見解を述べました。

の由井名誉